

2波のストうちぬいた力をもって 12・1総評青年協集会を牽引せよ!

青年部根こそぎ決起を実現し、

本部反動集団の敵対を徹くせよ!

12月1日、総評青年協主催による「12・1有事立法粉碎、反戦、反安保、反合、反マル生即争勝利、日朝連帯、青研労働者中央総決起集会」が開かれる。すでに動労千葉支部で精力的に開始されている青年部の討論・オルグに、更に数段の拍車をかけ、文字通り「80年代日本労働運動を牽引する動労千葉」の真価をかけ、青年部根こそぎ決起の堂々たる登場を勝ちとつていこうではないか!

80年代激動との正面対決

「12・1への総決起にむけ、確認すべきポイントの点は、イラン・韓国・石油・自民党支配の危機・汚職……等を見るまでもなく、すさまじい勢いで開始された今日の激動的内外情勢を80年代の基本動向として真正面からとらえ、今こそ侵略・戦争・反動支配と闘い、生活と権利を守るために全面的に決起し、その当面する最大の攻防の接点が三里塚二期攻撃として切迫していることを訴えて闘いぬくという事である。

圧倒的隊列で明治公園へ

確認すべきポイントの点は、12・1において我が動労千葉青年部の圧倒的隊列が堂々と登場し合流することを通して、日本労働運動の戦局的再編「80年代勝利への突破口がきりひらかれる」という点である。

「結成後わずかハカ月」の「たかだか千二百名」の新生動労千葉が、「労農連帯」反合・三里塚・ジェットを掲げ、権力・当局・本部・革マル等の十字砲火をぶち破り身をもってさし示した二波にわたるストライキは、敵の心臓を射ぬくと共に、右傾化に抗し苦闘している全国の即労働者人民に雷鳴の如き衝撃と希望・勇気を与えた。全国の仲間が我々とはいかにあるべきか、「80年代をどうやったら勝てるのか」を真剣に学ぼう

としている。我々は応える義務がある。

本部反動集団の集会破壊を許すな

「12・1の重要な点は、この動労千葉の堂々たる登場を死ぬほど恐れ、あらゆる卑劣な手段を弄して集会破壊に訴えんと画策している動労本部・革マルの敵対を断じ、許さず集会の成功を勝ちとることである。

「日本本部」と「千葉破壊」のみ「まる」で革マル外郭団体」と評判をはせる動労本部「八銀委員長は、もとはといえば自分たちの方からまいら種でもある「革マル」革労協」固衝突問題などを口実に使って、何と破壊的なことに、こともあろうに12・1集会への株動隊準備強化を請い願ひ、集会の中止を総評議長に要請し(当然一蹴)、あげくは、開催するなら自分達も、自衛のため、にやると、などと恫喝・悲鳴を上げていたのだ。(以下付申入れ書) 彼らは、その一方で「何としても動労千葉の隊列だけは青年協集会に登場させ全

てはならない!」と焦りに焦って、卑屈な心情もあらわに必死の策動をめぐらしている事をあげき出し、我々は堂々とこれらうち破って進撃しなければならぬ。今春4月青年協集会にあかうゆが隊列に焦った彼らの錦糸町駅でのあのうろたえの進行ぶりを想起せよ。だが来る「12・1」こそ我々は明治公園万余の仲間の前に堂々と「本物の動労」の姿を「労農連帯・80年勝利」の旗を高々とかがげ、「二波スト貫徹」のあの熱意をたぎらせ登場させるのだ。青年部は総決起を

日刊
動労千葉

79.11.28

No. 286

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二五八・九・(公衆電話)二二七二〇七